

Y11b

## 天体スペクトルの理解を目標とした汎用カリキュラムの開発 —日本HOU協会スペクトルカリキュラム試作版

古荘 玲子 (科学技術振興事業団)、半田 利弘 (東大天文センター)、新井 達之 (葛飾区郷土と天文の博物館)、大島 修 (岡山県立鴨方高校)、掛谷 好博 (銀河学院中学高校)、川端 哲也 (美星天文台)、永井 智哉 (宇宙開発事業団)、原田 郁子 (科学技術振興事業団)、他 JAHOU TRA および会員

日本ハズオン・ユニバース協会 (通称 JAHOU) で作成中の“天体分光学学習カリキュラム”版が完成したので報告する。

JAHOU では、1999 年夏よりワーキンググループを結成して独自の“天体分光学学習カリキュラム”を作成してきた。本カリキュラムは、天文学における分光学の基本的概念を理解することに重点を置いている。内容は高校生程度を対象としているが、高校だけではなく、中学校や大学、市民向け講座などで幅広く利用できるものを目指している。

本カリキュラムの特徴は以下の通りである。

- 理解に最低限必要な概念をカリキュラム内部だけで完結するように構成。
- カリキュラムの構成は、分光概念の導入に加えてスペクトルからどのような情報を得るかで章分けした。
- セクションごとに既習概念を示したので、一部のセクションだけを選んで履修することが可能。
- あつかっている波長を可視光に限らなかったため、電波など他の波長域の観測データについての理解に発展させることが可能である。
- 宇宙膨張や天体の運動・性質の理解の初歩までを対象としているので、最先端の天文学の成果を理解する助けになる。

今回、試用版として最低限の構成内容について本文と回答用紙、教員用補足を作成した。現在有志により試行実践を行っている。発表ではその結果を併せて報告する予定である。試作版段階だが幅広く意見を伺いたい。